

【自分たちに何ができるか ④】

みんなの思いを届けよう……!

今回の能登地震発生から間もなく一ヶ月になろうとしています。未だライフラインが十分に回復しなかったり、学校が再開できず、集団で金沢などへ移動して勉強をする地区の生徒さんたちの様子も報道されたりしています。ここ数日は大雪に見舞われ、ボランティアの方を受け入れることさえなかなかできない状況にあるとも聞いています。私たちは今、何の不自由なく学び、生活できることに改めて感謝するとともに、みなさんと同じ中学生が北陸地方にもたくさんいることを、私たちは忘れないでいたいものです。

みなさんや保護者・地域の皆様、先生方から集められた募金は、昨日時点で二十一万五千円を超えました。一月三十一日にみなさんを代表して生徒会長の春日井さんと一緒に、市長さんに届けてきます。前回お知らせしたように、二月一日に姉妹都市である能登町に、市長さんが直接届けてくださることになっています。みなさんの中には、もしかしたら小学生の時に能登町との交流事業でおじやましたことがある人がいるのではないのでしょうか。もしかしたらお友達もいるのかも知れませ

ね。学習委員会が今、学用品の支援について話し合いを進めてくれていますが、募金したから終わりということではなく、自分たちができることを大切に紡いでいきたいと思っています。

教頭先生がタブレットを使って新聞記事を配信してくださっています。明日の朝の時間にもたくさんさんの写真を木村先生と一緒に送ってくださいます。そのたくさんさんの写真をみて何を感じるのか、自分の言葉で詳しく表現してみてください。そして、できれば石川の子どもたちへ応援のメッセージを伝えられたら良いと思います。

流山市で災害が起こったときに、段ボールベッドを提供してくださることになっている会社の社長さんが、姉妹都市である能登町のために段ボールベッド九百人分を提供してくださいださったことが記事になっていました。すごいことだと思いませんか。できることを無理なく、みんなで行っていききたいですね。

【小さなことの積み重ねが成功へ！】

冬季トレーニングを観ていて考えたこと……

冬期トレーニングも残りわずかになってきました。昨日も寒い中、たくさんさんの仲間たちが頑張っていました。昨日は様々な種目を順番にこなしていく練習でしたが、それらを観ていて考えたこと、それは小さなことの積み重ねの大切さとそれにのぞむ姿勢についてで

す。昨日は縄跳びやラダー、ハードルくぐりやタイヤ押し、逆上がり等、トレーニングの内容によって、きつと得意不得意があったと思います。それでも参加してくれたみんなはとにかく一生懸命にやっていました。感心したのはそれだけではなく、種目と種目の間を走って移動していたこと、仲間と声を掛け合い、励まし合いながら笑顔で頑張っていたことです。種目と種目の間は、ついつい休憩したくなりますよね。その方が何倍か楽なように感じます。でも、みんなは違っていた。笑顔とともに真剣さがあり、仲間と競い合っていた。そんな上を目指そうとする気持ち、小さなことでも楽をせず、上達しようとする努力する姿勢は、必ず結果へと結びつくのだと思います。苦手なものでも挑戦しようとしていく気持ち、それを持ち続けていけば、きつと納得のいく結果が得られます。南中生の素晴らしさを見せてもらった昨日でした。

